

浅間山融雪型火山泥流に対応した噴火警戒レベルの運用が開始されています

(現在はレベル1で、火砕流を伴う噴火が発生する兆候は見られません)

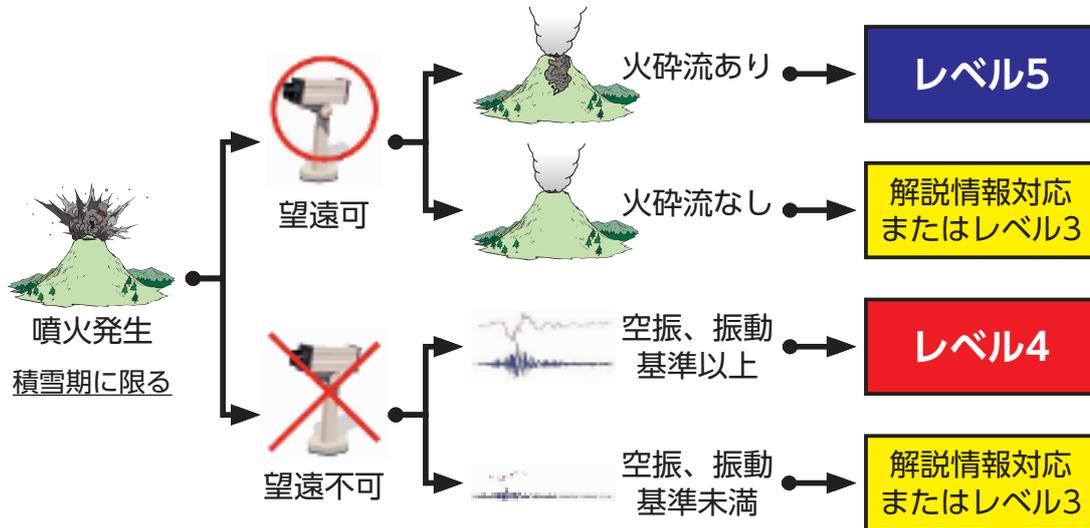
気象庁は、1月29日、浅間山の山頂付近の積雪の状況が、平均して50センチメートル以上の深さに達していると推定されることから、居住地域に到達する融雪型火山泥流が発生しうる条件の一つが成立していると判断し、「浅間山融雪型火山泥流に対応した噴火警戒レベル」の運用を開始しました。

浅間山では、一定以上の積雪条件(※1)の下で、火砕流を伴う噴火が発生した場合、「融雪型火山泥流」(※2)が発生して、沢沿いや低地の居住地域に被害を及ぼす可能性があります。浅間山火山防災協議会における融雪型火山泥流に対する検討を踏まえ、浅間山で一定以上の積雪条件下で火砕流が発生または発生した可能性がある場合には、気象庁では、「融雪型火山泥流に対する警戒が必要」である旨を明記した噴火警戒レベル4またはレベル5を発表することとしています(図1参照)。

※1 浅間山周辺の関係機関の協力を得て、積雪の状態等を調査し、山頂付近で平均して、50センチメートル以上の積雪に達したと推定した場合

※2 噴火時の火砕流等の熱によって、火山の上に積もった多量の雪氷が融け、周辺の土砂等を巻き込んで、沢沿いや低地に流下する火山現象

浅間山中噴火による融雪型火山泥流を想定した噴火警戒レベルの運用 図1



問い合わせ先
総務課防災情報係
(32) 31111

(広告欄)

モデルハウス見学
随時受付中

見学をご希望の方は、こちらからご予約ください

お問い合わせは今すぐ
0120-33-4152
メールの方は vip@ooi-kensetsu.co.jp
大井建設工業株式会社
〒167-74 御代田町馬瀬口1670-74 TEL.0267-32-3333(代) ©ISO 9001 認証取得

家は何を基準に選んだらいいのでしょうか?

その疑問を解決するために、信州大学と共同研究を始め、更なる住宅の性能向上に取り組んでいます。

信州大学と共同研究の家
オープン!

佐久市中込梨ノ木[梨ノ木分譲地内]

